

# 平成22年度 事業計画書

(財)日本ラグビーフットボール協会

## 国内大会関係

- 第52回 YC&AC JAPAN SEVENS  
4月4日(日) 場所:横浜 YC&AC
- 第11回 全国高等学校選抜大会  
4月1日(木)~7日(水) 場所:埼玉 熊谷ラグビー場
- ジャパン・セブズ高校の部  
4月10日(土) 場所:東京 江戸川陸上競技場
- セブズ フェスティバル 2010 in TOKYO  
4月25日(日) 場所:東京 秩父宮ラグビー場
- 全国高等学校合同チーム大会  
7月26日(月)~29日(木)  
場所:長野 菅平高原サニアパーク
- 第1回全国中学校大会(中学校の部・スクール部)  
8月13日(金)~15日(日) (予定)  
場所:長野 菅平高原サニアパーク
- ジャパンラグビー・トップリーグ 2010-2011  
<リ・グ戦> 9月3日(金)~平成23年1月10日(月)  
場所:東北・関東・東海・北陸・関西・中国・四国・九州  
<プレーオフトーナメント>  
・セミファイナル 平成23年1月23日(日)  
・ファイナル 平成23年1月30日(日)  
場所:東京・大阪  
<ワイルドカード>  
・準決勝 平成23年1月16日(日)  
・決勝 平成23年1月22日(土)  
場所:未定  
<チャリティマッチ> 平成23年3月予定  
場所:東京(予定)
- 第65回 国民体育大会 (日本体育協会主催)  
10月1日(金)~5日(火)  
場所:千葉県 市原市・スボレクパーク(成年・少年)
- 第23回 女子ラグビー交流大会(合同)  
11月23日(火) 場所:東京 江戸川陸上競技場
- 第9回 東西学生クラブ対抗試合  
12月中旬 埼玉 熊谷ラグビー場
- 第47回 全国大学選手権大会  
12月19日(日)~平成23年1月9日(日)  
場所:関東・関西・九州  
準決勝 平成23年1月2日(日) 国立競技場  
決勝 平成23年1月9日(日) 国立競技場
- 第90回 全国高等学校大会  
12月27日(月)~平成23年1月8日(土)  
場所:大阪 花園ラグビー場
- 第3回 U-18 合同チーム東西対抗  
平成23年1月8日(土)  
場所:大阪 花園ラグビー場(全国高等学校大会前座)
- 第18回 全国クラブ大会  
1回戦・12月26日(日) 2回戦・平成23年1月9日(日)  
場所:埼玉 熊谷ラグビー場  
決勝 平成23年1月下旬 東京 秩父宮ラグビー場
- 第16回 全国ジュニアラグビー大会  
12月29日(水)・31日(金) 場所:大阪 花園ラグビー
- 第61回 全国地区対抗大学大会  
平成23年1月2日(日)・4日(火)・6日(木)  
場所:愛知 瑞穂ラグビー場
- 第41回 全国高等専門学校大会  
平成23年1月4日(火)・5日(水)・7日(金)・9日(日)  
場所:兵庫 神戸総合ユニバ記念競技場  
決勝戦:兵庫 ホームスタジアム神戸
- 第48回 日本選手権大会  
1回戦・平成23年2月6日(土)・2回戦 2月13日(日)  
準決勝 2月19日(土)・決勝 2月27日(日)  
場所:東京 秩父宮ラグビー場・大阪 花園ラグビー場
- 第7回 全国小学生タグラグビー選手権大会  
平成23年2月26日(土)・27日(日)
- 三地域協会対抗試合 平成23年3月予定  
九州代表 関東代表 場所:九州  
関東代表 - 関西代表 場所:関東  
関西代表 - 九州代表 場所:関西

## 国際大会・海外遠征関係

### <高等学校関係>

- サニックス・ワールド・ユース交流大会  
4月28日(水)~5月5日(水)  
場所:福岡 宗像市 グローバルアリーナ
- 第18回 日・韓・中 ジュニア交流競技会  
(日本体育協会主催) 8月23日~27日 場所:中国
- 高校日本代表・海外遠征 平成23年3月

### <女子日本代表関係>

- 女子 15人制強化合宿・国際試合  
・強化合宿 4月1日(木)~6日(火)  
5月15日(土)・16日(日)  
・女子日本代表テストマッチ  
5月22日(土) 対香港女子代表  
場所:東京 秩父宮ラグビー場

5. 女子日本代表 7人制 試合  
 ・アジア大会 7月3日・4日(広州)  
 ・アジア・上海大会 9月4日・5日  
 ・アジア・ボルネオ大会 10月30日・31日  
 ・アジア大会 11月21日～23日  
 ・香港セブンズ 平成23年3月予定
6. 女子日本代表強化合宿 年間5回(10日間位)を計画

<7人制日本代表(男子)>

7. ザンビア大会 5月29日・30日  
 8. サファリ大会 6月5日・6日  
 9. クアラルンプール大会 8月11日～16日  
 10. 上海7人制大会 9月4日・5日  
 11. スリランカ7人制大会 9月18日・19日  
 12. ブルネイ7人制大会 10月23日・24日  
 13. シンガポール大会 11月6日・7日  
 14. アジア大会 11月21日～23日(広州)  
 15. IRB ワールド ドバイ大会 12月4日・5日  
 16. ダーウィン大会 平成23年1月22日・23日(豪州)  
 17. IRB ワールド NZ大会 平成23年2月5日・6日  
 18. IRB ワールド USA大会 平成23年2月12日・13日  
 19. IRB ワールド 豪州大会 平成23年3月19日・20日  
 20. IRB ワールド香港大会 平成23年3月25日～27日  
 21. 7人制強化合宿予定  
 5月21日～23日 ・7月16日～18日  
 平成23年1月29日～30日 ・2月21日～27日  
 3月11日～18日

<U20 日本代表関係>

22. 強化合宿(予定)  
 4月8日～11日 (流通経済大)  
 4月20～23日 (JISS)
23. ジュニア ワールドトロフィー(ロシア・モスクワ)  
 Pool A(4カ国) : イタリア・ウルグアイ・ルーマニア  
 パプアニューギニア  
 Pool B(4カ国) : 日本・カナダ・ロシア・ジンバブエ  
 大会日程  
 5月18日 第一試合 対 ロシア  
 5月22日 第二試合 対 ジンバブエ  
 5月26日 第三試合 対 カナダ  
 5月30日 順位決戦戦
24. U20ジュニア ワールドトロフィー-アジア予選(スリランカ)  
 8月8日～18日  
 <日本A代表>
25. セレクション試合  
 2011年3月の三地域対抗戦を予定
26. 強化合宿 5月中旬 5日間程度予定
27. 海外遠征(欧州 予定)  
 6月中旬～7月に2週間程度(2～3試合)

<15人制日本代表>

28. 日本代表強化合宿

- 4月2日～14日 フィットネス・強化合宿(宮崎県)
29. アジア5ネーションズカップ兼2011RWCアジア予選  
 5月1日 対 対 韓国(韓国・テグ)  
 5月8日(土) 対 アラビアンガルフ(日本・秩父宮)  
 5月15日(土) 対 カザフスタン(日本・秩父宮)  
 5月22日(土) 対 香港(日本・秩父宮)
30. IRB パシフィック・ネーションズカップ2010  
 6月12日 対フィジー(フィジー)  
 6月19日 対サモア(サモア)  
 6月26日 対トンガ(サモア)  
 海外強化遠征 6月6日～26日
31. リボピタンDチャレンジマッチ(東京・秩父宮ラグビー場)  
 10月30日 対サモア  
 11月6日 対ロシア

## 各委員会関係

各委員会・各部門は次の事業を実施する。

### 1. 管理委員会

#### (1) 法務部門

業務委託、スポンサー契約等の典型例の離形化協会の判断・決定に関する紛争の法廷闘争化防止のためのスポーツ仲裁機構の有効活用を検討する。その他必要事項を実施する。

#### (2) 財務部門

協会運営に対し、財務面からの検討と助言を行う機能を担う。  
 2019WC開催に向けた財務戦略の実行への協力  
 ・現状のコスト構造の把握と改善課題の抽出  
 ・予算作成・管理プロセス改善  
 ・収益/パフォーマンスを基準とした予算管理  
 ・事業/予算のモニタリングシステム  
 ・地域協会、支部協会の枠組み整理とレビュー  
 H22年度予算の実行フォローとH23年計画への反映  
 各委員会の事業への助言、支援  
 監査委員会との連携、協力  
 公益法人化への協力

#### (3) 環境部門

社会貢献活動の1つと位置付け、ラグビーを通じて環境保全に関する啓発・実践活動の推進を積極的に図る。

##### <事業活動>

- ・日本協会として『環境保全活動』を広域的に推進する。
- ・『チャレンジ25』(環境省主管)へ各地域協会及び各チームへの加盟協力の促進を図る。
- ・各委員会との連携・協力体制を強化し環境啓発PR活動を推進する。
- ・JAPAN トップリーグとのコラボレーションによる相乗効果を図る。

- ・JOC、日本スポーツ振興センター等との連携を図る。
- ・JOC、環境省主催の環境セミナーへの積極的参加と他団体の取組み事例の研究を継続する。

#### ＜具体的実施計画＞

1. 広報活動(環境啓発PR)
  - ・広報委員会との連携によりHP、機関紙、プログラム、メンバー表等の活用を図る。
  - ・公式戦が開催時における観客・ファンへの環境啓発活動の推進行う。
  - ・環境横断幕、掲示、ポスター掲出活用、試合時のMC・ビジョン活用等へ告知する。
  - ・ラグビー環境アンバサダー選手等(案)の設定を検討する。
2. 試合開催時のゴミ分別回収による資源再利用を推進する。
3. 協会役員・選手・関係者・ファンへの「チャレンジ 25」参加を呼び掛ける。
4. 資源節約のため試合開催時のマイカップ運動の促進とボトルキャップの回収・再利用等、環境貢献に向けた検討の継続。
5. 省エネルギー、エコ商品利用の推奨。
6. すべての実践活動を広報PRと連動させ、更なる環境啓発に向けた相乗効果を図る。

## 2. マーケティング委員会

1. ラグビー協賛の価値向上
 

一昨年来低迷する経済状況下で、各企業の顧客やビジネスパートナーとのコミュニケーションにおいて、ラグビー協賛がスポンサー企業にとって有効なビジネスソリューションとなることを、引き続き目指す。

具体的には、スポンサー企業による大会の活用の提案やCSR・次世代育成等のテーマを含め、スポンサー企業の直接または間接的なメリットとなるセールス物件の開発に努める。
2. 新規コンテンツの開発
 

昨年決定した2019年RWC日本開催、2016年からの男女7人制ラグビーオリンピック種目化を、ラグビーの認知普及並びにラグビー協賛のビジネス価値向上の機会と捉え、2019年に向けた普及育成プログラムや7人制ラグビー新規大会の創設等の新たなコンテンツ開発を行う。また、昨年実施したプレディスローカップ等に準じる国際大会を開催し、新たなマーケティング収入獲得、国際ラグビー認知の向上を図る。
3. 各事業におけるマーケティング収入目標の明確化
 

事業(大会、普及等)ごとの明確な収入目標を設定し、マーケティングに求められる目標収入を明確化。事業ごとの達成度の評価・分析を確実にを行い、事業の黒字化に貢献する。
4. 電通をはじめとする各広告代理店との連携
 

前述の新規コンテンツ開発やセールスに当たっては、

電通をはじめとする各代理店の企画力、営業力の更なる発揮を促すと共に、協会のラグビー関係者ルートを最大限に生かしたセールスを推進する。

5. その他
 

販売後のスポンサーフォロー、特に権利行使、保護やホスピタリティを代理店の協力の元に確実にを行い、スポンサーからの信頼獲得に努める。

## 3. 広報委員会

1. 事業方針
 

日本ラグビーフットボール協会の理念、ビジョン、ミッションの具現化によりあらたなラグビーファミリーの増大にかなげるために、日本ラグビーのブランド価値の向上に資する活動を積極的に展開する
2. 活動施策
  - (1) 協会活動に関するブランディング
 

新たに策定された「理念/スローガン」の統一した運用マニュアルを策定、アイデンティティの統一を図る  
開示物・ツールなどの制作の一元管理に結びつけ、効果的・効率的な運用を図る  
あるべきブランドの姿を確定し、定点観測によりポジションを把握し目標を設定、アクションプランを策定する(常時理事会報告・検討)
  - (2) 2019RWC対応
 

組織委員会の方針と連動した、中長期的なメディア対策プランおよび広報プランの策定を行う
  - (3) インナー(内部)広報(地域協会と都道府県協会間のコミュニケーション)
 

メール機能による(メーリング)三地域・都道府県協会への情報発信体制を確立させる  
将来的にイントラネット(内部情報共有システム)導入に向けた検討を行う  
ハードウェアの確立とあわせ、提供する情報のジャンル・内容を策定、量・質の増大を目指す  
新インナーメディア(内部限定の会報など)の検討...  
他スポーツ団体の事例の研究を行う
  - (4) 危機管理広報
 

的確・迅速な対応を行う  
統一危機管理マニュアルの策定

## 4. 事業委員会

トップリーグを含む全ての日本協会主催試合及び大会の事業企画・運営を遂行し、集客・収益の拡大を目指す。

1. 目標値
 

集客目標	60万人	
・国際試合・大学・日本選手権		20万人
・トップリーグ		40万人
収益目標	7億7千万円	
国際試合について		

- ・国際部と連携し中長期の国際試合の計画を立案する。
- ・日本代表戦の収益改善をはかり黒字化を目指す。
- ・IRB・ARFU 主催試合の円滑な運営を行う。

国内試合について

- ・日本選手権・大学選手権の集客・収益向上のための諸政策を実施する。

トップリーグについて

別掲(トップリーグ部門)

2. 前条1の数値目標を達成するためのチケットング・プロモーション活動を企画・推進し 2019 年に繋がる中長期の集客拡大策を展開する。
3. メンバーズ会員の増大を進める。
4. 全企業内容の見直しを行い、経費削減を行う。

### [1]. 企画・競技運営部門

日本協会主催試合出の企画・競技運営を実行し、選手及び観客が満足する試合環境をを実現する。  
効率的な試合運営を行い試合経費の削減を図る。

### [2]. 国体部門

- (1) 第 65 回国体開催に関する打合せを実施する。  
千葉県実行委員会 市原市実行委員会  
関東ラグビーフットボール協会  
千葉県ラグビーフットボール協会
- (2) 平成 23 年以降の開催予定県との打合わせを行う。  
・山口県(23 年)・岐阜県(24 年)・東京都(25 年)
- (3) 平成 28 年第 71 回国体開催予定地(岩手県)の競技会場視察を実施する。
- (4) 国体部門会議の開催  
・7人制導入に伴う諸問題や、その他事項を検討する。
- (5) 第 65 回国民体育大会について  
大会期間：10月1日(金)～10月5日(火)  
組み合わせ抽選会 9月5日(日)午後1時～  
・(財)日本ラグビー協会 会議室  
代表者会議 9月30日(木) 市原市  
・成年男子・少年男子 市原市民会館  
表彰式 10月5日(火) 12:00～  
・市原スポレクパーク
- (6) 開催地との意見交換会  
・10月4日(月) 18:00～ 場所未定

### [3]. 社会人部門

1. トップリーグを除く社会人ラグビーを発展させるための諸施策を実施(三地域協会との連携)
2. 第 52 回 YCAC7 人制大会への協力。(4月4日・横浜 YCAC))  
大学 8・社会人 6・クラブ 2 計 16 チーム
3. 主要試合等に社会人チームへ観客動員の協力依頼する。
4. 第 65 回民体育大会(千葉県)へ協力・参加
5. その他必要事項を実施する。

### [4]. 大学部門

1. 大学選手権組合せ方式の変更を検討する。
2. 試合日程等(地域協会含め)を検討する。
3. 大学 1 年生・2 年生大会を検討し、強化につなげる。
4. 大学チームへ観客動員策を実施する。
5. その他必要事項を実施する。

### [5]. クラブ部門

1. 「クラブからオリンピック選手を」テーマに強化・普及を図る  
トップクラブチームは 15 人制とともに、7 人制チームを結成し、大会を開催し、強化・普及を図る。  
15 人制チームが、存続できない県において、7 人制に特化して普及を図る。  
高校生ユースは、7 人制チームに重点を置き普及を図り、大会を検討する。
2. ラグビー文化の涵養を通しての、「ワールドカップ」日本開催成功に協力する。  
クラブ部門では、「フェアプレー」「ローサイドの精神」「One For All, ALL For One」「アフター ファンクション」など、ラグビーの持つ素晴らしい文化をラグビー関係者のみならず多くの一般の人に認知をはかり、ラグビーの普及に寄与するとともに、「ワールドカップ日本招致」の成功、とりわけ観客動員のための支援活動を行う。
3. クラブ大会の開催  
第 18 回全国クラブ大会 会場:熊谷、秩父宮  
・1 回戦:平成 22 年 12 月 26 日  
・準決勝:平成 23 年 1 月 9 日  
・決勝:平成 23 年 1 月下旬  
参加数:6 チームによるトーナメント戦  
優勝チームは日本選手権への出場権を獲得する。  
学生クラブ東西交流フェスティバル IN 菅平 2010  
・9月3日～5日(日) 場所:菅平サニアパーク  
・参加数:40 チーム(予定)  
・菅平合宿の時期をとらえ、学生ラグビーの振興と普及を目的とした大会とする。  
・学生実行委員会を組織し、学生自身が主体的に関わり大会運営を行う。  
・単なる競技会ではなく、学生向けのレフリー講習会、安全対策講習会、スキルアップ研修会などを組み込んで学生クラブの資質の向上を図る。  
第 9 回東西学生クラブ対抗試合  
12 月中旬 熊谷ラグビー場  
・関東 - 関西の学生クラブ大会のそれぞれの優勝チームで学生クラブ日本一を戦う。  
第 7 回クラブユース交流試合(兼:クラブユース U-19)  
6 月下旬 場所:兵庫・神戸製鋼所を予定  
・ラグビー部のない高校生がラグビーをやる場として、各地域に高校生のためのクラブ組織が誕生している。  
公式な試合会場の提供によるクラブユースの普及発

展と拡大、大会の認知を図る。

全国クラブ7人制大会を検討する。

全国から16チーム位が参加し各県のトップクラブチームを中心に、他チームの選手を補強したチームによるレベルの高い大会を目指す。

6月下旬・東京

クラブユース7人制大会を検討する。

全国各地から6チーム位

## [6]. トップリーグ部門

トップリーグ中長期事業計画に基づいた活動の展開。特に、事業企画&事業プロモーションと併合されたことによる相乗効果を狙う。

1. 2010年度 集客目標 40万人以上
2. 2010年度 FOR ALL活動
  - ・FOR ALL活動の拡大・充実
  - ・ファン・日本協会関係者、地域協会関係者、加盟企業、選手に至る幅広い展開
  - ・活動の継続とさらなる発展を狙う。
3. トップリーグ事業部門の充実
  - ・旧事業部との併合による相乗効果を狙いとし、集客活動への機動力を高める。
  - ・広報・普及活動並びに試合運営の精度をさらに向上させる。
4. 社会貢献活動への取り組み
  - ・チャリティーマッチの開催
  - ・TRY FOR GREEN活動展開
  - ・チャレンジ25への参加
5. 地域協会、開催地協会との連携強化
  - ・開催会場に対し、試合運営に関わる諸課題を共有化し、観客や選手に喜ばれる環境の整備
  - ・広報、普及、集客等、試合運営精度の向上
6. 会場開催地の決定
  - ・集客率の高い会場の設定  
(カーディング精度の向上)
  - ・経費効率を考慮した会場決定
7. 加盟企業との連携
  - ・各種会議の開催
  - ・各種普及活動並びイベント等の協力協働作業
8. 広報分野の強化
  - ・TV等への浸透策の検討と実施
  - ・新聞、雑誌等への露出拡大策の検討と実施
9. 普及分野の強化
  - ・集客を念頭に入れた普及活動の展開
  - ・地方会場での集客活動の強化
  - ・FOR ALL活動の強化
  - ・タグラグビーの普及
10. 日本代表活動への協力
  - ・加盟企業による代表活動協力体制の強化

## [7]. 事業広報部門

### 1. 事業方針

日本ラグビーフットボール協会の理念、ビジョン、ミッションの具現化を基本に、あらゆるステークホルダーとのコミュニケーションに努め、社会から好意・好感を得るための広報施策をプロモーションと連携し積極的に展開、あらたなラグビーファミリー増大につなげる

### 2. 広報活動の目標

- (1) マスコミとの良好な関係作り
- (2) ラグビーファミリーの増大
- (3) 観客動員につながる活動

### 3. 活動施策

<協会運営・事業広報>

- (1) マスコミとのリレーション
    - ・ラグビー担当記者の組織化と継続的、良好な関係作り
    - ・運動部長クラスとの交流...マスコミ懇談会の開催  
(年2回)
    - ・トップ広報...報道機関への挨拶回り(年2回)
  - (2) 広報戦略の企画・立案
    - 2019RWC戦略室と連携した、中・長期的なメディアプランの企画・立案
  - (3) 各部門への広報支援
    - ・理事会
    - ・マーケット、事業・プロモーションとの連携
    - ・日本代表事業
    - ・トップリーグ事業
    - ・競技力向上部門
    - ・その他
  - (4) 各部門との連携
    - ・RWC2019 戦略室
    - ・集客拡大プロジェクト
  - (5) 危機管理広報
    - ・危機管理広報対応
    - ・各層代表へのリスクマネジメント広報講習
    - ・協会全体へのリスクマネジメント広報ガイドラインの検討・作成
- <情報管理>
- ・Webサイトの管理・運営及び情報基盤の整備
  - ・魅力あるWebサイトの作成
  - ・読まれる機関誌の作成
- <競技時広報の運営>
- ・試合現場対応・支援
  - ・試合後会見運営・支援
  - ・試合記録
- <三地域協会との連携>
- ・競技運営、広報関連の連携
- <日常広報業務>
- ・取材(会見)対応
  - ・ニュース・ソースの発掘
  - ・ニュース・リリースの作成・配信
  - ・関係先との調整

- ・ホームページによる情報発信
- ・機関誌編集
- ・競技時広報の運営
- ・競技時広報の運営支援・指導(地方)

## 6. 普及・競技力向上委員会

### 【普及育成部門】

#### 1. 小学生部門

##### <活動方針と目的>

JRFU 戦略計画 2010-2019 に基づく競技人口拡大と、一貫指導体制構築からの指導者養成に向けた取り組みを行う。

指導者及び指導者養成コーチ(トレーナー)の育成

ラグビーを楽しめるルールの検証

各カテゴリーの「場」の創出(全国大会等)

全国規模でのミニラグビープレーヤー対象のアンケート調査の実施

小学生が積極的にラグビー観戦したくなるような施策を講じる

一貫指導体制の確立

##### <具体的な取り組み>

指導者養成講習会の実施(コーチングディレクター・リソースコーチからの指導支援)

ミニラグビー競技規則のルール検証

三地域ミニジャンボリー大会の開催

チーム・選手への試合観戦機会の提供と集客協力(試合開催日の試合観戦案内)

##### <スケジュール>

・三地域ミニジャンボリー大会

関東協会:7月18日~19日 長野・菅平高原

関西協会:6月26日~27日 兵庫・淡路佐野運動公園

九州協会:8月27日~29日 熊本・阿蘇

・トップリーグFORALLミニラグビーフレンドリーマッチ  
平成23年1月30日(予定) 秩父宮ラグビー場

#### 2. 中学生部門

##### <活動方針と目的>

JRFU 戦略計画 2010-2019 の認識と中学生部門での具現化、特に2010年度に実施項目について、中学生部門における具体的施策を周知徹底することを目指す。

「シンキングラグビー」の周知と徹底をはかる。

10年後の日本の育成(目的の一つとして...)

枠の拡大(U15 競技人口増加)と質の保証(質の担保・競技力向上)

質の向上を担保する為の 一貫指導体制の構築と確立 人材・指導者の養成

枠の拡大の為の RDO の構築と推進 中学生教員の養成

中学校 ラグビースクール を両輪とした事業推進  
ラグビー競技の価値の創造 周知 一般化  
新たなラグビー文化の創生

RDO・・・リージョナル・ベロップメント・オフサー制度の創設と地域普及活動

中学校教員の養成(含む外部指導者の養成)

全国展開の一元化

##### <具体的な取り組み>

U16、U17 の高校9ブロック講習会に参加による U15・中学生部門の指導者養成

地域協会主催の大会、ジャンボリーへの大会助成

第1回全国中学生ラグビーフットボール大会の新設

第16回全国ジュニアラグビーフットボール大会の実施

複数登録と合同チーム・連合チームの実態調査

12人制ジュニアラグビーの競技規則の継続検証

##### <スケジュール>

三地域ジャンボリー

関東協会:7月18日~19日 長野・菅平高原

関西協会:6月26日~27日 兵庫・淡路佐野運動公園

九州協会:8月27日~29日 熊本・阿蘇

第1回全国中学生ラグビーフットボール大会

8月13日、14日、長野県/菅平・サニアパーク

第16回全国ジュニアラグビーフットボール大会

12月29日~31日(予定) 花園ラグビー場

#### 3. タグ部門

##### <活動方針と目的>

JRFU 戦略計画 2010-2019 が掲げる競技者20万人拡大に向けた、全方位の競技者増加の推進にタグラグビーの生涯スポーツ・教育現場への普及、全国大会事業での認知拡大を目指す。

タグラグビー第2期プロジェクトの目標として、全国22,000校の小学校全てでタグラグビーが体育の授業として行われることを目指し、小学校教員を対象とした指導法研修会を全都道府県で実施することにより、前期2年間(2009 - 2010)で全小学校の1割に当たる2,200校への紹介、後期5年間(2011 - 2015)までに半分に当たる11,000校への紹介を達成し、体育授業としての定着を進めていく。

サントリーカップ全国小学生タグラグビー選手権大会の今年度開催に向けた、大会参加者・大会認知の拡大とされる事業推進に取り組む。また、タグラグビーからミニ・ジュニアラグビー、女子ラグビー、7人制ラグビーへのステップアップに向けた取り組みと、実態・実績を調査する。

##### <具体的な取り組み>

都道府県で各県協会主催の指導法研修会の実施  
教育委員会等からの依頼研修会に対する各協会での対応

研修会指導者の養成と資格制度の整備(コーチ部門との連携事業)

研修会で使用する指導書や指導資料の整備

協会ホームページからの良質な情報発信

用具メーカーと連携した小学校教育現場への道具の提供

サントリーカップ全国小学生ラグビー選手権大会に向けた参加者・認知拡大の早期事業進行

<スケジュール>

ラグビー指導者育成研修会(案)・適時開催  
サントリーカップ全国小学生ラグビー選手権大会  
平成23年2月26日・27日 東京 秩父宮ラグビー場

【競技力向上部門】

1. 競技力向上部門

<活動方針と目的>

2015年W杯2勝以上、2019年W杯において日本代表チームのベスト8進出、7人制日本代表が2016年オリンピックにてメダルを獲得するために以下の事業を展開する。

(1) U16 ブロック合宿からジャパンにつづく一貫システムづくり

(2) 高校代表、U20 代表、JAPAN A、7人制代表への選手育成、コーチ派遣、日本スタイルの共有

(3) 女子委員会、代表事業部、オリンピック・セブンズ委員会、メディカルとの連携を図り、男女7人制代表の強化に取り組む

(4) セブンズアカデミーを継続実施しタレント発掘や7人制強化に取り組む

<具体的な取り組み>

U16 ブロック合宿、U17 ブロック合宿、U17 合同大会/合宿、高校三地域対抗

U18 代表の強化とスタッフ支援、U20 世代の強化とスタッフ支援、JAPAN A の強化とスタッフ支援

年4回のセブンズアカデミー、9ブロックでのアカデミー拠点事業(ブロックアカデミーとパートナークラブ)、タレントトライアル、地方自治体タレント発掘事業との連携

男女7人制代表への支援、S&C コーチ派遣による定期的なモニタリングと強化

コーチ部門との連携による日本スタイル策定とその落とし込み、一貫指導体制の構築

<スケジュール>

平成22年度U16&U17ブロック講習会日程(予定)

(U17)北海道 5/1(土)~3(月) 北見

(U16)近畿 6/4(金)~6(日) 奈良・天理

(U17)近畿 6/4(金)~6(日) 奈良・天理

(U17)関東 6/18(金)~20(日) 神奈川・専修大学

(U17)中国 6/19(土)~20(日) 岡山・美作球技場

(U17)北信越 6/25(金)~27(日) 長野・菅平

(U17)東海 6/25(金)~27(日) 鈴鹿スポーツガーデン

(U17)東北 7/9(金)~11(日) 岩手県・八幡平

(U17)九州 7/10(土)~12(月) 大分・湯布院

(U16)九州 7/10(土)~12(月) 大分・湯布院

(U16)北海道 8/6(金)~8(日) 北見

(U16)四国 11/27(土)~28(日) 西条市東予運動公園

(U16)東海 12/18(土)~19(日) 長良川球技メドウ

(U17)四国 3/12(土)~13(日) 愛媛・久万高原

(U16)中国 3/19(土)~21(月)

2. コーチ/一貫指導部門

<活動方針と目的>

日本ラグビーの「一貫指導体制」確立に向け、「自ら考えて成長しつづける指導者づくり」を方針とする指導者育成を推進する。コーチングディレクター・リソースコーチによる、各カテゴリーへの指導者育成支援、およびコーチ資格保有者へのブラッシュアップ研修を広く展開する。また、コーチネットの開設より、資格保有者への情報提供や、双方向からのコミュニケーションを図ることを目指す。2019年へ向けた戦略計画より20万人の競技者拡大に連携した指導者育成計画として、選手10人に対して1名の指導者を育成することを目指す。

コーチネットの運用開始と質的充実

リソースコーチによる高校9ブロックへの一貫指導

リソースコーチによるコーチ資格保有者へのブラッシュアップ研修の実施

小学校教員に対するタグ指導資格講習会支援

<具体的な取り組み>

(1) 指導者育成

強化コーチ養成講習会の開催

育成コーチ養成講習会の開催

スタートコーチ養成講習会の開催

トレーナー養成講習会の開催

各種講習会へのコーチ派遣

女子委員会 指導者養成支援

ラグビー指導者養成支援

(2) 研修会開催

トップチームゲーム会議

トップチームコーチ資格取得研修会

ブラッシュアップ(義務化に伴う再研修)研修会

三地域都道府県委員長会議

IRBトレーナー研修会

(3) コーチング研究

IRBコーチ養成に関する会議への参加

指導教材の開発

(4) コーチング出版関連

講習会用マニュアルの作成

講習会・研修会用ポスターの作成

(5) 会議開催

部門全体会議

部門内小会議

(6) コーチ資格義務化に伴う事業

有資格者登録管理システムの確立

コーチネット サービスの開始

3. 科学/国際技術/情報・AIR 部門

<活動方針と目的>

中長期的な視点から実践的アプローチによるラグビーの分析および調査研究を世界に問う。高水準の国際論文誌への実践研究の投稿・掲載と著作・刊行化を図る。

アジアにおける強化及び普及に向け、共同・連携する中長期ビジョンのプラン・モデル構築に着手し、主導的機能を

果たす。

ラグビーゲーム・スキル戦略に関する日本独自のエビデンス情報を構築する。

ラグビー科学研究23巻を発刊する。

オリンピック競技化を射程に入れ、JOC、体協、JISS との連携強化を図り、7人制強化および普及に必要な事業を行なう。

<具体的な取り組み>

委員会・担当部門会議・小委員会の開催

日本ラグビー戦略提案

戦略検討カンファレンス開催

異競技・異組織との連携構築

情報支援：情報科学・組織経営情報ニュース

(AIR)連携組織との実践関係構築：JISS、JOC 等

(AIR)アジア各ユニオンへの情報提供

(AIR)IRB 向けのアニュアルレポート

(AIR)AIR の自律組織化

<研究テーマ>

日本ラグビーのゲーム・スキル開発研究

15人制・7人制の特性研究

レフリー・ルールに関する研究

グラウンドコンディションに関する研究

体力・形態学基礎研究

#### 4. トレーナー部門

日本ラグビー界におけるトレーナーの位置付けを明確にするとともに人材の育成を行なう

人材育成事業(ラグビートレーナー育成)

競技力向上委員会トレーナー部門担当

トップリーグメディカルコントロール部会との連携強化

およびその他の必要な事業を行う。

女子委員会へのトレーナー的支援

<具体的な取り組み>

トレーナーセミナーの開催

ホームページおよび関連機関誌を通じて医・科学情報を発信する。

日本代表チームのトレーナー環境の整備・支援する。

教育・啓発関連資料の作成する。

#### 5. メディカル部門

三地域協会および都道府県医務委員会間の整合性をとりながら広範な医学的支援を行う。

三地域連絡協議会の開催

日本協会主催試合医務担当

日本代表チームメディカル部門担当(含む海外遠征帯同ドクター派遣)

トップリーグメディカルコントロール部会担当

マッチドクター(チームドクター含む)の養成

AIRへの協力

JOC、体協、JISS との連携強化および他に必要な事業

女子委員会への医学的支援

<具体的な取り組み>

委員会・医事担当部門会議・三地域連絡協議会

医務担当・日本協会主催試合(主管協会と連携)

日本代表チームメディカル部門担当(含む海外遠征)

#### 6. 高校委員会

(1)部会の開催

全国高体連ラグビー専門部全国会議

4月10日 常任委員会(東京)

11日 専門委員長会(東京)

12月25日 常任委員会(大阪)

26日(土) 専門委員長会(大阪)

競技力向上委員会高校部門会議

10月3日(東京)

(2)全国高体連関係について

4月 総体中央委員会(東京)

5月 評議委員会(東京)

9月 総体中央委員会(東京)

11月 部長・委員長会(東京)

H・23・3月 評議委員会(東京)

(3)大会関連

第11回全国選抜大会

4月1日～7日 埼玉県 熊谷ラグビー場

参加：32チーム

ジャパンセブンズ2010 高校の部

4月10日 東京 江戸川陸上競技場

サックス・ワールド・ユース交流大会

4月28日～5月5日

福岡県 宗像市：グローバルアリーナ

第6回全国高等学校合同チームラグビー大会

7月26日～29日 長野県：菅平高原サニアパーク

第65回国民体育大会 10月1日～5日

成年の部・少年の部 = 千葉県 市原市

第90回全国高等学校大会

12月27日～平成23年1月8日(木)

大阪：花園ラグビー場

第41回全国高専大会 平成23年1月 兵庫県

第3回 U18合同チーム東西対抗 平成23年1月

大阪 花園ラグビー場

(4)強化指導

高校日本代表選手の選抜

U17 ブロケットレセン 全国9ブロックで開催

(5)普及指導

合同チーム交流大会兼第30回普及指導講習会

平成23年3月(北海道は22年5月)

全国9ブロックで開催

スキルアップキャンプ2010

8月2日～4日 長野県：菅平

(6)第35回高等学校指導者研修会

平成23年1月 東京

東京：日本協会・日本青年館

全国9ブロックから2名の参加、研究発表と講演、大学選



## 手権決勝の観戦

### (7)高校海外交流について

高校日本代表海外遠征

第18回日韓中ジュニア交流競技会 8月 中国

### (8)高校ルール検討委員会

安全を最優先にルールの検証を行う。

### (9)安全対策

・重傷事故の撲滅 ・スクラムの組み方の徹底を図る。

### (10)その他

高校部員登録人数を3万人台に回復するように普及活動を推進する

・2019年ワールドカップに向けたユース強化

・7人制強化 高校女子ラグビーの普及・強化

・サニックスユース大会 (福岡 4月28日~5月5日)

・日本代表テストマッチ(11月)

・香港協会レフリー交流(8月・9月・1月)

・ドバイ協会レフリー交流(8月)

### 3. 三地域レフリー指導

全国高校選抜大会(埼玉・熊谷 4月1日~7日)

サニックスユース大会(福岡 4月28日~5月5日)

三地域巡回指導(4月~6月) 関東・関西・九州

三地域トップレフリー研修会(8月中旬) 長野県菅平

### 4. レフリーコーチ・評価研修活動

・A・A1レフリー資格者の増大・育成を図る。

・サイティングの採用を検討する。

全国高校選抜大会研修会(埼玉 4月1日~7日)

ワールドユース大会研修会(福岡 4月28日~5月5日)

海外招聘レフリーコーチによる巡回指導(5・8・12・2月)

関東・関西・九州

レベル講習会(5月・6月) 関東・関西・九州

パネル・三地域レフリー研修(8月) 北海道・長野

パネルレフリー研修会等、適時実施

全国高校大会研修会 大阪・花園

アカデミー研修

### 5. レフリー評価、割当、ランキング

トップレベルのゲームを対象にパネルレフリー・STを割当し、評価・コーチングを行う。

評価はデータベースに纏め、そのデータを参考にレフリー部門と海外招聘レフリーコーチとで協議し、レフリーのランキングを決定する。

### 6. 出版・広報

ルール伝達講習会(三地域別に開催 6月~7月)

機関紙掲載 協会HP活用

IRBレフリーマニュアル等の整備

### 7. その他

委員会活動

定例レフリー部門会(4・5・7・8・11・2月) 東京他

部門・三地域委員長合同会議(年4回) 東京他

### 8. 備品等購入

Uシーパー購入(消耗激しい為、4年使用)

エンブレム・DVD購入 ビンパッチ購入(海外遠征用)

## 2. ルール部門

### 1. 重点目標

IRB2010年度ルールの迅速な解釈と対応。質問・意見の集約を的確に行い、IRBとの緊密かつ信頼ある関係を構築する。

日本における正しい発展を目指し、ルールの在り様についての議論とIRBへの提起を図る。

リーリング・レフリーングのレフリー間、地域差、時間差ギャップ解消を図る。

安全性を十分に考慮したルールの啓蒙活動を行う。

### 2. 具体的な取り組み

・4月~5月 IRBルール通達動向の注視及び情報収集

・6月~7月 ルール通達への対応

## 7. 審判委員会

### 1. レフリー部門

#### 1. パネルレフリー(IRBパネル・A・A1・ST)研修活動>

パネルレフリー研修会(5・7・9月) 東京・秩父宮

春季TLオープン戦への派遣 関東・関西・九州

AR(アシスタントレフリー)研修会(年5回) 東京・大阪・九州

日本代表合宿への参加・・・日時未定

パネルレフリー夏季集中研修 網走市・北見市

アジアパネルレフリー研修会(8月下旬) 長野県菅平

夏季TLプレマッチへの派遣 関東・関西・九州

TL派遣(9~2月)

秋季TLプレマッチへの派遣 関東・関西・九州

全国大会前パネルレフリー研修会(11月)東京・秩父宮

冬季TLプレマッチへの派遣 関東・関西・九州

全国高校大会レフリー研修会(12月下旬) 大阪・花園

全国各種大会派遣(1~3月)

アカデミーレフリー研修会

#### 2. 海外交流(派遣・受け入れ)

・A・A1レフリー資格者の増大・育成を図る。

・サイティングの採用を検討する。

派遣関係

・ワールドセブンズ、シックスネーションズ他(IRB活動)

・アジア5ネーションズカップ(4~5月)

・ジュニア・ワールド・チャンピオンシップ(6月)国内

・IRBパシフィック・ネーションズカップ

・アジア派遣(アジア圏での国際試合・大会)

・IRB・TTT研修(7月)

・アカデミーレフリー海外派遣(10日~14日)

・NZRFUアカデミー研修(4月~7月)

・NZワイカト協会研修(4月~7月)

・香港協会交流(10月・3月)

・ドバイ協会交流(11月)

受入関係

・IRBレフリーアドバイザーの招聘

・IRBレフリーコーチの招聘

・IRBパネルレフリーの招聘

## 8. 国際委員会

<2019 ワールドカップ日本開催を視野に入れた海外とのネットワークづくり>

1. 海外への情報発信の強化
    - IRB 理事国、アジア協会理事国に対し、定期的ニュースリリースを送付する。
    - 英文の JRFU ハンドブックを制作し配布する。
    - 英文ホームページの充実および海外メディアの活用を図る。
  2. 海外との窓口(コンタクトパーソン)拡大
    - より多くの日本協会関係者が海外と交流できるための機会を増加させる。
  3. 事務局スタッフのバイリンガル化を促進する。
  4. ワールドカップ日本招致開催を成功に導くための各種活動を行う。
  5. アジアでのリーダーシップを取るための各種活動を展開する。
- <一般項目>
1. IRB 関連
    - IRB 議事録の管理・活用を図る。
    - IRB 通達およびリリース翻訳の各部署へ提供する。
    - IRB の各種規定の管理体制を構築する。
    - IRB および IRB 理事国との諸連絡の強化を図る。
  2. アジア理事会関連
    - アジアラグビー協会の議事録の管理・活用を図る。
    - アジア協会および理事国との諸連絡の徹底を図る。
    - アジア協会諸事業に支援する。
  3. 国際試合関連業務の強化
    - 計画的に国際試合を計画し実施する。
    - 計画的に国際試合および海外チーム受け入れ計画を作成し実施する。
    - リエゾンオフィサー育成および各種運営に参加する。
  4. 国際関連一般
    - 海外 VIP 来日時の確実な対応
    - 英文ホームページ、英文プレスリリース関連を定期的に発信する。
    - クリアランスおよび海外遠征許可関連業務の徹底

## 9. 日本代表事業委員会

1. 代表チーム
  - (1)合宿
    - 4/2~14 フィットネス・強化合宿(於:宮崎)
  - (2)アジア5ネーションズカップ兼2011RWCアジア予選
    - 4/23~5/22 合宿&遠征
    - 5/1 第一試合 vs韓国代表(於:韓国・テグ)
    - 5/8 第二試合 vsアラビアンガルフ代表 (於:秩父宮)

5/15 第三試合 vsカザフスタン代表(於:秩父宮)

5/22 第四試合 vs香港代表(於:秩父宮)

### (3)親善試合

5/30~6/5 合宿

6/5 南アフリカ州選抜(仮称)vsジャパン15(仮称)

### (4)パシフィックネーションズカップ2010

6/6~6/26 合宿

6/12 第一試合 vsフィジー代表(於:フィジー)

6/19 第二試合 vsサモア代表(於:サモア)

6/26 第三試合 vsトンガ代表(於:サモア)

### (5)11月ウインドウマンス

10/25~11/21(2試合~3試合)

試合については調整中

## 2. A代表

### (1)強化合宿

5月中旬 5日間程度

### (2)海外遠征(欧州予定)

6月中もしくは7月に2週間程度(2試合~3試合)

### (3)セレクションゲーム

2011年3月の3地域対抗戦を予定

## 3. U20 代表

### (1)強化合宿

4/8~11(於:流経大)

4/20~23(於:JISS)

### (2)ジュニアワールドトロフィー(於:ロシア・モスクワ)

Pool A:イタリア、ウルグアイ、ルーマニア、ルブアニューギニア

Pool B:カナダ、日本、ロシア、ジンバブエ

5/7~31

5/18 第一試合 vsロシア(於:Slava)

5/22 第二試合 vsジンバブエ(於:Fili)

5/26 第三試合 vsカナダ(於:Slava)

5/30 順位決定戦

### (3)U20 代表ジュニアワールドトロフィーアジア予選(スリランカ) 8/8~18

## 4. 7人制日本代表

### (1)セレクション合宿

4/16~18 (於:宮崎)

### (2)国際大会

5/29~30 ザンビア7 s

6/5~6 サファリ7 s

7/19~25 世界大学生大会(ポルトガル)

8/11~16 クアラルンプール7 s

9/4~5 アジア7 s上海大会

9/18~19 アジア7 sスリランカ大会

10/23~24 アジア7 sブルネイ大会

11/6~7 アジア7 sシンガポール大会

11/21~23 アジア大会(広州)

12/4~5 IRBワールド7 sドバイ大会

1/22~23

ダーウイン7 s(豪州)

2/5~6 IRBワールド7 sNZ大会

2/12~13 IRBワールド7 sUSA大会

3/19~20 IRBワールド7 s豪州大会

3/25～27 IRBワールド7 s香港大会

(3)強化合宿

5/21～23 ・7/5～8 ・7/16～18 ・1/29～30  
2/21～27 ・3/11～18

(4)フィットネステスト

8/23～28 ・9/27～10/2 ・10/11～16

5. 女子代表

(1)15人制代表合宿

4/1～6 U18日本代表vsU18香港代表強化合宿  
5/15～16 強化合宿

(2)15人制代表試合

5/22 vs香港代表(於:秩父宮)

(3)7人制代表試合

7/3～4 アジア女子7 s(広州)  
9/4～5 アジア7 s 上海大会  
10/30～31 アジア7 sボルネオ大会  
11/21～23 アジア大会(広州)

(4)強化合宿

年間5回(10日程度)の合宿を計画

6. ハイパフォーマンス関連

(1)A代表&7人制エリート合宿

4/10～14  
5/3～5  
5/18～20

(2)U18代表合宿&遠征

8/1～4(菅平)・8/19～22  
2/2～6  
2/21～24  
3/11～31(欧州遠征)

(3)U17代表合宿&遠征

7/23～29 U17合同合宿&大会  
8/20～23 代表合宿  
8/23～29 アジア3カ国対抗戦(中国)

(4)セブンスアカデミー

5/14～16・7/16～18・11/26～28  
3/11～13

講習会講師としてのトレーナーの育成

6. チーム登録資格要件の追加など、速やかに具体的施策を実施する。

7. 分析ソフトの導入により、重傷事故分析班の活動を更に推進する。

8. 2011年度に向け、また中長期的展望の下、新たな施策を検討、実施する。

9. 普及・啓発活動

外傷・傷害の撲滅を目指し啓発活動の継続的実施。

<具体的な取り組み>

・各部門と連携し重症事故の撲滅に努力する。

・日本協会のHPを利用して、タイムリーな事例を掲載して、啓発する。

10. 調査・検討

<具体的な取り組み>

・重症傷害報告書、1ヶ月後経過報告書及び2ヶ月後経過報告書を提出する体制の組織強化を行う。

・重症傷害者に関するアフターケアの方向性模索する。

11. 研修会開催

全国委員長会議

日本協会として安全対策に対する方向性・通達事項・各都道府県単位の安全対策講習会に向けた伝達資料等、また各都道府県での課題をピックアップしてグループ討論を行う。

各都道府県安全対策委員長を招集し、共通理解を図り徹底する。

スキルアップ研修会

<具体的な取り組み>

・8月初旬、菅平において高校生及びその指導者を対象とした講習会に講師を派遣する。

各都道府県安全対策研修会の実態把握

<具体的な取り組み>

・安全対策事業報告書を作成し、各都道府県での研修会後その提出を求める。

12. メディカルサポーター管理

メディカルサポーターの養成・管理の充実を図る。

<具体的な取り組み>

・各都道府県でのメディカルサポーターの養成状況を把握する。

・メディカルサポーター管理に関する認定証・手帳等の補充・検討する。

・メディカルサポーター更新の講習会を開催する。

13. 委員会の開催

全国委員長会議を6月に開催するため、5月に第1回委員会を開催。また今年度の事故の傾向の分析と次年度への対策を含めた会を12月か1月に開催する。

14. 連携

医科学部門・ルール部門・コーチ部門・中学・高校委員会との連携を一層強化し、外傷・障害の減少を図る。

## 10. 安全対策推進委員会

1. 各委員会と連携し、横断的組織として活動する。
2. 「重症事故の撲滅」と「安全なラグビーの普及・徹底」を掲げ、安全対策の指導を行う。
3. 重症事故の再発を防止し、重症事故撲滅を図るべく発生事故に対する調査・分析・研究を行う。
4. チーム責任者等に「重症事故撲滅対策」の意識付けを行い、チーム内においてチームの責任者が事故撲滅の啓発活動の牽引役を担い自ら事故撲滅・安全推進活動を展開できる組織的なサポートを実行する。
5. 「安全推進講習会」の開催により、「重症事故の撲滅」と「安全なラグビーの普及」の徹底を図る。

「Rugby Ready」の活用

安全推進講習マニュアルDVDの作成と管理

## 11. 女子委員会

1. 日本 U18 代表対香港 U18 代表(15 人制)  
期日 4月11日(日)  
会場 熊谷ラグビー場  
概要 U18の15人制国際試合は初めて
2. 日本代表候補選手・コルツ選手「強化合宿」  
期日 4月17日(土)～18日(日)  
会場 NTTドコモ関西 ラグビー場予定  
概要 3月に行われた日本代表候補選手・コルツ選手の加盟選手希望者による選考会。
3. 九州コース強化選手公募選考会(4期生)  
主催 福岡レディース  
期日 4月18日(日)  
会場 コカコーラウェスト さわやか広場  
概要 福岡ではタレント発掘事業で選出されている選手も参加
4. 関西コース強化選手公募選考会(5期生)  
期日 4月25日(日)  
会場 近鉄花園ラグビー場 練習グラウンド  
概要 セブンズアカデミーに向けて公募を行う。  
セブンズ・フェスティバル IN TOKYO (秩父宮)  
・4月26日 女子は4チーム参加
5. 日本代表候補選手・コルツ選手「強化合宿」  
期日 5月2日(日)～4日(火)  
会場 流通経済大学 ラグビー場  
概要 練習およびフィジカルチェックとレーニングの紹介
6. 香港代表招待試合 出場選手練習会  
期日 5月16日(日)  
会場 辰巳ラグビー場  
概要 4・5月の強化合宿から選出された日本代表選手による、香港戦に向けた練習。
7. 香港代表招待試合  
期日 5月22日(土)  
会場 秩父宮ラグビー場 12時キックオフ  
概要 女子としては、初めて代表チームを国内に招待して行われる。  
本年より香港と日本が毎年、継続的に行う記念すべき第1回の招待試合。
8. 日本代表候補選手・コルツ選手「強化合宿」  
期日 6月12日(土)～13日(日)  
会場 愛知学院大学 ラグビー場  
概要 選手の身体的な特徴などからポジションの選定、選手自身が理解を深める。
9. 関西 18 歳以上トライアウト  
期日 6月20日  
場所 花園ラグビー場
10. 7人制日本代表選手 練習会  
期日 6月27日(日)
11. 総会  
会場 辰巳ラグビー場  
場所 アジアセブンズに向けて練習・調整。  
期日 7月4日(日)  
場所 未定  
概要 全国のチームの代表者が年1回集まり女子ラグビーについて討議
12. 日本代表候補選手・コルツ選手「強化合宿」  
期日 7月17日(土)～19日(月・祝)  
会場 流通経済大学 ラグビー場  
概要 イングランド遠征に向けて練習。メンバー選考を開始。
13. アジアセブンズ大会  
期日 7月24日、25日  
場所 中国(広州)  
概要 アジアの中国、カザフスタン、タイなどの強豪が会場
14. 日本代表候補選手・コルツ選手「強化合宿」  
期日 8月13日(金)～15日(日)  
会場 菅平高原  
概要 イングランド遠征に向けて、練習調整。遠征メンバー発表。
15. 日本代表イングランド遠征  
期日 8月末～9月初旬の予定  
会場 イングランド  
概要 現地クラブの2チームと試合。および女子W杯決勝・3位決定戦の観戦。
16. 東北大会、関東大会、関西大会 9月、10月(予定)  
期日 東北大会 9月・関東大会 10月  
関西大会 10月
17. 第23回女子ラグビー交流大会  
期日 11月23日(火・祝)  
会場 江戸川区陸上競技場  
概要 全国の女子チームが参加
18. 7人制日本代表 アジア大会  
期日 11月20日～24日  
会場 広州  
概要 参加国未定。JOCより男女セブンズチームが参加。
19. ガールズフェスティバル  
期日 11月28日(日)を予定  
会場 熊谷ラグビー場を予定  
概要 スクールに通う小・中学生女子の試合
20. ジャパンウーマンズセブンズ2011  
期日 平成23年3月  
会場 関西のグラウンドを予定  
概要 全国のチームが集まりセブンズの優勝チームを決める
21. 香港セブンズ 平成23年3月下旬 予定
22. 9月以降も継続して、日本代表候補及びコルツ選手は練習・合宿を行う。

## 12. オリンピック・セブンズ委員会

### <活動方針と目的>

JOC/JISS/NTC との連携のもと、オリンピックアクティビティ関連事業の統括を行う。

日本協会内各委員会ならびに三地域協会との連携のもと、7人制ラグビー普及のための企画・立案を行う。

代表事業委員会との連携のもと、7人制ラグビー強化に関する企画・立案を行う。

国体部門との連携のもと、国体正式種目採用への働きかけを行う。

JISS との連携のもと、7人制ラグビーのゲーム医学的、身体的観点からの安全確保に関する調査、研究、および指導を行う。

JISS との連携のもと、7人制ラグビーのゲーム分析、国際的な動向に関する調査・研究・分析を行う。

### <具体的な取り組み>

各種大7人制会の創設を検討する。

- ・国体競技正式種目化への働きかけ(東京国体)
- ・国際大会を検討する。
- ・全国大会の創設と国内予選化を検討する。
- ・三地域協会内での大会調査を実施する。
- ・全国9ブロック内での大会創設を検討する。
- ・中学生大会・高校生大会・大学生大会・トップリーグ大会を検討する。
- ・全国路自治との連携野本、7人制大会の検討

### <強化・普及事業>

- ・全国自治体によるタレント発掘事業との連携を図る。
- ・JOC/JISS/NTC との連携によるセブンズアカデミーの企画・立案を行う。
- ・全国クラブチーム・トップリーグチーム・大学との連携のもと、全国9ブロック内の拠点化プロジェクト検討する。
- ・大学、トップリーグ15人制試合時の前座7人制試合を検討する。

### <広報・プロモーション・マーケティング活動>

- ・7人制ホームページの充実を図る。
- ・7人制ラグビー認知活動を推進する。

## 【特別委員会】

### 1. アンチ・ドーピング委員会

IRB規定およびWADA規程を遵守するために、国内ドーピング防止機関であるJADAと連携調整しながら、ラグビーにおける選手、コーチ、トレーナー、チームDr等関係者を対象にして、ドーピング防止活動を行う。

1. ドーピング検査を実施する。
2. ドーピング防止普及啓発活動を展開する。
3. ドーピング防止関連資料の作成・配布する。

4. JADAとの連携およびその他必要な事業を実施する。

### <具体的な取り組み>

#### 1. ドーピング検査

・JADAと協力して、競技会検査(テストマッチ・国内主要大会試合)を実施する。

・JADAおよびIRBの検査対象者登録リストの掲載選手の居場所情報管理についての助言を行う。

・治療目的使用に係る除外措置申請手続きの助言と指導を行う。

#### 2. 普及活動・セミナー開催・情報提供活動・関連資料の作成

・トップリーグのチームDrとトレーナーを対象にドーピング防止関連の情報提供をする。

・チームに対するドーピング防止講習会を実施する。

・全国高校大会出場校を対象にJADAと協力してドーピング防止啓発活動を実施する。

・日本選手権出場チームおよび全国大学選手権出場校にドーピング防止関係情報を提供する。

## 2. RWC 戦略室

#### 1. JRFU 戦略計画に関して以下の業務を行う。

- 戦略計画の完成
- 戦略計画の周知徹底
- 戦略計画のモニタリングとフィードバック
- 戦略計画のレビュー
- JRFU データベース計画の作成
- その他、戦略計画の実施に伴う総合的な業務

#### 2. RWC2019 準備活動として以下の業務を行う。

- RWC2019 戦略計画の作成
- RWCL との連絡業務
- HUA 特別条項への回答作成
- 組織委員会(OC)設置へ向けての準備活動
- RWC2019 のプロモーション活動

#### 3. RWC2019 基金活動

- 平成22年度に一定金額のRWC基金を積み上げることを目標とする。
- その他の方法で、RWC開催への財政を強化する施策を考案・実施する。

### <主なタイムスケジュール>

- 4月 JRFU 戦略計画の完成および全国展開  
JRFU 戦略計画のモニタリング活動を開始  
RWCL との連絡を継続
- 5月 RWC2019 基金案を理事会へ答申
- 6月 RWC2019 基金案活動を開始
- 7月 7月28日 RWC デーイベント開催
- 9月 シーズンインと同時に RWC2019 プロモーション活動を開始
- 11月 HUA 特別条項の回答を RWCL へ提出
- 2月 2010年 JRFU 戦略計画の活動についてレビューを理事会へ提出
- 3月 2011年 JRFU 戦略計画を発表

## 関東ラグビーフットボール協会

### 1. メディカル委員会

- 医務委員長会議の開催
- メディカルソサエティ総会の開催
- 日本代表、関東代表、学生代表遠征への医務協力
- 競技力向上委員会、メディカルコミッティ部門への参加
- 国際試合(日本協会主催試合含む)の医務協力
- 安全対策委員会、コーチ委員会、レフリー委員会等々と連携し、安全対策の推進に努める
- 各小委員会活動

### 2. レフリー委員会

- <本年度の目標>
- ・日本協会と連携し、レフリーのスキルアップ
- ・関東協会所属レフリーの発掘・育成と指導
- ・各支部におけるレフリー育成と指導及び支援
- ・各支部におけるレフリーコーチの育成と指導
- 諸会議の開催
- 関東協会主催の研修会・講習会の開催
- 日本協会主催の各種研修会への参加
- 各種公式大会へのレフリー派遣

### 3. 安全対策委員会

- <本年度の目標>
- ・重症傷害の予防に関する啓発活動の実施
- ・プレイヤーの安全に関わる事項の検討と方策
- ・安全対策に関わる講習会の実施 トレーナー
- ・各支部における安全対策講習会の促進(日本協会安全推進委員会との連携)
- ・メディカルサポーター養成に関わる事項 日本協会と連携(トレーナー組織論、資格スタンダード)
- 菅平高原安全対策啓発活動=高校生対象のスキルアップ講習会
- 関東協会における高度傷害についての動向調査
- 熱中症予防通達についての啓発活動の継続
- 全国安全対策委員長会議の実施
- メディカル、登録者傷害見舞金委員会等々、各種委員会との連携
- 安全対策関係の通達、申合わせ事項の整理、と周知徹底

### 4. コーチ委員会

- 指導者養成事業
- ・ブラシアップ研修会(強化コーチ・育成コーチ・新スタートコーチ)
- ・コーチトレーナー講習会
- 地域推進事業
- ・関東コーチ委員長会議の開催
- コーチ派遣事業

- ・各支部からの要請に応じて開催
- ・安全なタックル指導講習会の開催(DVDの作成と配布)

### 5. 普及育成委員会

<スクール中学生>

大会の開催

- ・東日本ジュニアジャンボリー
- ・北海道/東北/関東甲信越ジュニア交流大会
- ・東日本U15大会(中学生クラブ選手権)
- ・東日本中学生大会(ラグビースクールの部)
- ・東日本U15選抜大会(春の選抜)

選抜チームの派遣

選手育成プロジェクト兼指導者研修プロジェクト

普及活動推進プロジェクト(チーム数増加、選手数増加、空白県への対応)

安全対策の継続的強化

東日本地域のジュニアラグビーの現状調査と課題抽出

エイジ制導入と年代別ラグビーの整合性の検討

<タグラグビー>

小学校学習指導要領に従って学校からの指導要請に対応できる体制の構築

支部協会に対するタグ・インストラクター養成の支援

タグ普及に関する支援団体の確保

各地のタグ交流大会への支援

都道府県教育委員会主催の集合型講習会の実施

小学校体育授業への巡回講習会の実施

<ミニラグビー>

大会の開催

・北海道ミニ全道交流大会

・東北地区小学生交流大会

・日本海ミニラグビー交流大会

・西関東ブロック・ミニ交流大会

・東関東ブロック・ミニ交流大会

・菅平ミニ・ジャンボリー交流大会

・BBM杯ミニラグビー交流大会

指導者講習会の開催(各地)

指導者講習会の統一テーマ

・ラグビースクールの存在意義ってなに。(ラグビー文化の伝承、伝播)

・ラグビースクールで教えられる「しつけ」とは何か。

・ベーシックスキルについての検証。

### 6. 中学校委員会

大会の開催

・関東中学校大会

・東日本中学校大会

・全国ジュニアラグビー大会

・東日本菅平ジャンボリー大会

交流試合の開催

・春季東北中学校交流大会

- ・東北中学生交流大会
- ・中学校 - 中学生ラグビースクール交流戦
- ・東日本U15ジュニアラグビー選抜大会  
各種講習会、研修会への参加  
中学校委員会の開催(関東地区、東北地区)  
目標・各都道府県の中学校体育連盟へ加盟し、地域の中体連の活動に参加
- ・関東中学校大会への中体連公園の申請

## 7. セレコン強化委員会

### <テーマ>

- ・底辺の拡大とレベルアップ
- ・一人でも多くの選手をジャパンに

### <代表チームの編成>

- 関東代表(5月に NZ 遠征予定)
- 関東学生代表
- 関東高校選抜

## 8. 社会人委員会

### 各種大会実施

- ・YC&ACセブンズ(4/4)
- ・東日本都道府県対抗大会(岩手)
- ・国民体育大会ブロック大会(千葉)
- ・トップリーグ

トップイーストリーグ、関東社会人リーグ

チームとの意見交換会

レフリーとの意見交換会

東北社会人委員会との意見交換会

## 9. クラブ委員会

### <基本方針>

- ・「クラブからオリンピック選手を」テーマに強化・普及をはかる
- ・トップクラブチームは、15人制とともに、7人制チームを結成し、大会を開催し、強化・普及をはかる。
- ・15人制チームが、存続できない県においては、7人制に特化して普及をはかる。
- ・高校生ユースは、7人制チームに重点をおき普及をはかり、大会を実施する。ラグビー文化の涵養を通して、「ワールドカップ」日本大会成功に協力する。
- ・「フェアプレー」「ノーサイドの精神」「One For All、ALL For One」「アフター ファンクション」など、ラグビーの持つ素晴らしい文化を、ラグビー関係者のみならず多くの一般の人に認知をはかり、ラグビーの普及に寄与するとともに、「ワールドカップ日本招致」の成功、とりわけ観客動員のための支援活動を行う。
- 大会の開催
  - ・日本選手権大会へクラブ代表チームを派遣
  - ・全国クラブ大会の主管(12月～熊谷)
  - ・東日本トップクラブリーグの開催
  - ・東日本クラブトーナメント大会の開催

- ・ラグビーフェスタ2010菅平の開催
- ・ラグビーフェスタ2010八幡平の開催
- ・東北クラブ選手権大会の開催
- ・関東クラブセブンズの開催
- ・関東学生クラブ選手権大会の開催
- ・学生クラブ東西交流フェスティバルの主管
- ・地区対抗大学大会へ学生クラブ代表チームの派遣
- ・東西学生クラブ対抗試合へ関東学生クラブ代表を派遣(12月熊谷)
- ・東日本マスターズ大会(35歳以上大会)の開催  
諸会議の開催
  - ・関東クラブ委員長会議
  - ・東北クラブ委員長会議
  - ・支部各地で「クラブカンファランス」を開催

## 10. 大学委員会

大学公式戦実施(対抗戦・リーグ戦・地区対抗・北海道・東北)

大学ジュニア選手権大会実施

U20強化対策実施

交流戦の実施

日韓学生交流

委員会の開催、日本協会大学委員会との連携  
諸会議の開催

## 11. 高校委員会

各種大会の実施

・ジャパンセブンズ高校の部(4/10)

・関東高校代表 - 九州高校代表戦

・地区大会(北海道/東北/関東/北信越)

・U17ブロックレセン、講習会

・ブロック国体(予選会)

・国民体育大会参加(千葉)

・全国高校大会参加

・全国高校選抜大会地区予選会

・関東都県対抗戦

・全国高校選抜大会参加(4/1～熊谷)

普及指導講習会の開催

高校ラグビー指導者研修会

全国高校選抜大会の主管と準備会議の実施

関東高校代表チームの編成、強化遠征試合

高等専門学校の普及強化に向けた事業

## 12. ツアー委員会

海外遠征申請手続き

来日チーム許可申請手続

来日チームへのリエゾン活動

## 13. 広報委員会

刊行物の公刊

・関東協会年鑑「協会年鑑2010 - 2011」の作成と配布

・関東協会年鑑「役員名簿」の作成と配布

- ・試合日程メンバー表の作成と一般領布
- ・日本協会機関誌へ「関東協会だより」を執筆掲載
- ・日本協会広報活動への協力
- ・関東協会ポスター作成
- ・秩父宮ラグビー体験会の実施
- ・秩父宮観戦サービスとプレゼントの実施
- ・小学校、中学校、教育委員会への児童生徒の団体観戦案内
- ・関東協会「ホームページ」の運用
- ・試合当日の「メンバー表」の一般配布
- ・報道各社への「プレスリリース」の配信
- ・関東協会主催、主管試合の管理
- ・日本協会主催試合のサポート

#### 14. 観客動員委員会

- 対抗戦A、リーグ戦1部全 16 校による開会式実施
- 大学ポスター作成と一般ファンへの配布
- 試合前の校歌の斉唱
- プロモーションビデオの作成。
- 選手名鑑の作成。
- スポンサーの確保
- その他

#### 15. 登録者傷害見舞金審査委員会

- 傷害報告書・見舞金請求に対し、毎月審査委員会を開催
- 傷害報告を分類し、安全対策資料としてまとめて報告する
- 収支明細及び見舞金支給者名簿を作成し、日本協会へ報告

#### 16. 選手資格審査委員会

- 移籍に関して(トップリーグ規約による手続)
- トップリーグ以下の社会人チームにもトップリーグ規約を適用し、資格審査委員会で判断する
- 外国人選手新規登録審査(日本協会規約による手続)

#### 17. 規律委員会

- 競技規則、トップリーグ表彰懲罰規程に準拠した不行跡、不規律の措置
- シンピンの計数ならびに公開、イエローカード累積3枚時の措置

#### 18. 総務法務委員会

- 関東協会規約その他諸規定の整備
- 租税公課に関する対応
- 労務管理
- 法令遵守(コンプライアンス)
- 日本協会との組織統合に関する対応
- その他

#### 19. 競技委員会

- 公式戦の日程調整と決定
- 公式大会の主催・主管
- 公式戦への担当理事の派遣
- ボールボーイの選定と派遣
- 競技委員の発掘と育成(派遣依頼)



## 関西ラグビーフットボール協会

### 1. 各種大会

- (1). 各府県ラグビー祭・カーニバル等有料試合  
(府県別日程)
- (2). 第1回 関西・一宮セブンズ (5/8・9)
- (3). 第4回 関西祭り (5/16 花園ラグビー場)

### 2. 強化・セレクション委員会

三地域対抗戦 (3月 花園ラグビー場 他)

### 3. 普及育成委員会

- 第31回 関西中学生大会  
(7/29～8/1 岐阜県数河高原)
- 第12回 関西中学生ジャンボリー大会  
(7/29～8/1 岐阜県数河高原)
- 第4回 関西ミニ・ジャンボリー大会  
(6/26・27 淡路佐野運動公園)
- 第14回 中四国ジュニア・ラグビー大会  
(9月 場所未定)
- 第12回 近畿スクールジュニア交流大会  
(11月 場所未定)
- 第16回 全国ジュニアラグビー近畿ブロック予選  
(11月 場所未定)
- 第3回 関西スクールジュニアラグビー新人交流大会  
(3月 場所未定)
- (仮称)第1回全国中学生ラグビー大会  
(8月 菅平高原)
- (仮称)関西タグフェスティバルびわ湖カップ  
(5/22 滋賀県長浜市 長浜ドーム)
- 近畿小学生タグ選手権大会  
(9月初旬 場所未定)
- サントリーカップ近畿ブロック予選  
(1月 奈良 グランド未定)
- ラグビーマガジン Cup 関西ミニラグビー大会 2010  
(6/26・27 淡路佐野運動公園)
- サントリーカップ全国タグブロック予選 (地区別日程)

### 4. 社会人委員会

- トップウェストリーグ戦 (9月～11月 場所未定)
- トップチャレンジシリーズ (12月 花園ラグビー場)
- トップウェストリーグ 入替戦 (1月 鶴見緑地)
- トップウェストリーグ チャレンジマッチ (12月 未定)

### 5. クラブ委員会

- 第22回 関西クラブ大会 (9/12 岡山県美作市)
- 第3回 関西クラブトーナメント大会  
(10～11月 宝ヶ池 他)
- 第6回 関西クラブ セブン・ア・サイド選手権大会  
(5月 灘浜グラウンド)

### 6. 大学委員会

- 関西大学リーグ (9～12月 花園ラグビー場他)
- 関西大学リーグ入替戦 (12月 宝ヶ池 他)
- 第51回 関西医歯薬大学大会 (5月 滋賀県)

### 7. 高校委員会

- 第8回 関西高校少人数校ラグビー交流大会  
(6/12・13 大阪体育大学)
- 高校ブロック大会 (地区別日程)

### 8. 医務委員会

- 総会 (2月頃 花園ラグビー場)
- 総務部会 (7・10月 関西協会)
- マッチドクター養成セミナー (6月頃 クライトン)
- リーグ医師派遣会 (7月 関西協会)

### 9. レフリー委員会

- 総務委員会 (8回 関西協会)
- 委員長会議 (6・11月 場所未定)
- 主要試合レフリー会議 (9・3月 場所未定)
- アセッサー・コーチ会議 (9・3月 場所未定)
- シーズン総括会議 (3月 場所未定)
- B級認定講習会 (4～6月 各地区)
- Bトップ研修会 (5月 天理)
- アセッサー・コーチ講習会 (5月 大阪)
- ブラッシュアップ研修会 (8月 神鍋・数河)
- 三地域トップレフリー研修会 (8月 菅平)
- 春季レフリー研修会 (3月 場所未定)

### 10. 強化・セレクション委員会

- 委員会 (12・1・2月 関西協会他)
- 関西代表セレクション会議 (2月 花園ラグビー場)

### 11. コーチ委員会

- 総務部会 (5/17、10/25 関西協会)
- トップチームコーチ会議 (7/11 場所未定)
- コーチ委員長会議 (2/19 場所未定)
- 育成コーチブラッシュアップ講習会  
(日程 場所未定)
- 育成コーチ養成講習会 (日程 場所未定)
- 強化コーチ養成派遣  
(日程未定 国立オリンピックセンター)

### 12. 普及育成委員会

- 運営委員会 (4回 関西協会)
- タグ委員会 (5回 関西協会他)
- ミニ委員会 (4回 関西協会)
- ジュニア委員会 (4回 関西協会)
- ミニ・ラグビー指導者講習会 (3月 奈良県)

ミニラグビーブロック研修会 (3月 奈良県)  
関西中学生大会実行委員会 (3・8月 関西協会)  
関西中学生大会運営委員会 (日程未定 関西協会)  
全国ジュニア実行委員会 (5・1月 関西協会)  
全国ジュニア運営委員会 (日程未定 関西協会)  
四国ラグビースクール協議会夏季研修会  
(8/7・8 高知県)  
近畿ブロック指導者研修会 (下期 場所未定)  
東海・北陸ブロック指導者研修会 (下期 場所未定)  
中国ブロックミニラグビー指導者講習会(下期 未定)

### 13. 安全対策委員会

総務委員会 (1回 関西協会)  
委員長会議 (1月 花園ラグビー場)  
常任委員部会 (11月 花園ラグビー場)

### 14. 社会人委員会

総会 (2/26 新都ホテル)  
委員会 (日程未定 関西協会事務所他)

### 15. クラブ委員会

クラブ委員会 (6/19 関西協会)  
クラブ大会実行委員会 (7/24 関西協会)  
クラブ委員長会議 (9/11 岡山県美作市)

### 16. 大学委員会

総会 (7月 近畿大学)  
委員会 (日程未定 関西協会)

### 17. 高専委員会

全国高専大会実行委員会 (10・12月 神戸高専他)  
代表者会議 (1/3 グリーンヒルホテル神戸)

### 18. 高校委員会

委員会 (日程、場所未定)  
小委員会 (日程、場所未定)

### 19. 主要試合スケジュール並びに放送調整会議

(4・6月 関西協会)

### 20. 広報委員会

委員会 (7月下旬 関西協会)  
トップリーグ記者懇親会 (8月中旬 場所未定)  
関西協会シーズン開幕記者懇談会 (9月初旬 未定)

### 21. ツアー委員会

委員会 (3月上旬 関西協会)  
国際試合帯同 (日程、場所未定)

### 22. 傷害見舞金審査委員会

(8月除く毎月第2木曜日 関西協会)

## 九州ラグビーフットボール協会

### 1. レフリー委員会

- ・各県委員長会議:  
6月鹿児島・12月福岡・H23.2月福岡
- ・レフリー研修会・認定講習会  
九州地区トップレフリー研修会(8月・湯布院)  
九州地区B級レフリー研修会及び認定講習会(8月筋湯)  
三地域トップレフリー研修会(8月菅平)
- ・有望レフリー発掘事業(5月~6月)
- ・各県巡回指導研修会(H23.1月~3月)
- ・コーチ・アセッサ-研修会(未定・福岡)
- ・レフリー評価委員会(H23.2月)
- ・各種主催・主管大会へレフリーの派遣・各県試合会場

### 2. 社会人委員会

- ・第48回木元杯7人制大会(4月11日・福岡)
- ・トップキューシュウリーグ加盟チーム代表者会議(8月・福岡)
- ・第30回国体ブロック大会(8月21日~24日・鹿児島)
- ・第39回トップキューシュウリーグ戦(9月~11月・各地)
- ・トップリーグチャレンジ順位決定戦(12月4日~19日・未定)
- ・トップキューシュウリーグA・B入替戦(12月4日・福岡)
- ・トップ九州リーグ代表者会議(H23.2月11日・福岡)

### 3. クラブ委員会

- ・各県委員長会議開催(6月・福岡、11月・大分)
- ・九州感大会(6月12日~13日・北九州)
- ・第36回クラブ・実業団大会(11月13日~14日・大分)  
(11月28日・福岡\*決勝戦)
- ・第6回九州トップクラブリーグ(9月~11月・各地)
- ・トップクラブリーグ入替戦(12月12日・未定)

### 4. 大学委員会

- ・第49回九州山口医科系大学大会  
(4月25日~5月4日・福岡)
- ・学生強化およびリーグ講習会(5月21日~23日・福岡)
- ・第49回商経大学大会(6月12日~15日・鹿児島)
- ・第60回九州地区大学大会(6月26日~30日・佐賀)
- ・秋季九州学生リーグジュニア戦(未定)
- ・第17回九州学生リーグ(9月~11月・福岡他)
- ・第10回九州地区対抗大学大会  
(11月20日~23日・熊本)
- ・学生リーグ入替戦(12月6日・福岡)
- ・各県委員長会議開催(7月・12月・福岡)

### 5. 高専委員会

- ・高専チームリーグ講習会(3月30日~4月1日・八代)
- ・第19回九州高専新人大大会(5月8日~9日・久留米)
- ・各県委員長会議開催(11月12日・鹿児島)
- ・第47回九州高専大会(11月13日~16日・鹿児島)

### 6. 高校委員会

- ・九州高校選抜・関東高校選抜(4月10日~11日・東京)
- ・サニックスワールドユース交流大会(4月28日~5月5日・福岡)
- ・九州高体連ラグビー専門部委員長会議(6月26日・福岡)
- ・第63回全九州高校大会(6月26日~29日・沖縄)
- ・夏季九州高校1・2年生一次強化指導会  
U17全国高校合同チーム大会直前合宿  
(7月10日~12日・湯布院)
- ・第30回国体ブロック大会(8月21日~23日・鹿児島)
- ・第90回全国大会各県予選(10月始め~・各県)
- ・九州U16・U17交流会(12月18日~19日・福岡)
- ・九州高校委員会及び強化委員会(H23.2月19日・長崎)
- ・第33回全九州高校新人大大会  
(H23.2月19日~22日・長崎)
- ・U17九州選抜候補合宿  
春季九州高校2年生二次強化指導会  
(H23.3月19日~21日・湯布院)
- ・第12回九州高校10人制大会  
(H23.3月20日~21日・大分)
- ・その他強化合宿(夏・春)・指導会・各県委員長会議

### 7. コーチ委員会

- ・各県委員長会議(7月、12月・福岡)
- ・九州協会トップコーチ会議(7月・福岡)
- ・育成コーチ養成講習会開催(H23.2月・熊本、福岡)
- ・ブラッシュアップ講習会(要請に応じて随時開催)
- ・新スタートコーチ養成講習会(要請に応じて随時開催)
- ・その他コーチ委員会として必要な事業(随時実施)

### 8. 中学生委員会

- ・各県委員長会議(4月・7月・10月)
- ・インストラクター講習会(10月9日~11日・熊本)
- ・ジュニアラグビー指導者講習会(随時実施)
- ・第32回九州ジュニア大会(7月30日~8月1日・大分鯛生)
- ・第23回九州中学校大会(8月1日~3日・大分鯛生)
- ・第11回九州ジュニアブロック大会(10月9日~11日・熊本)
- ・第12回九州ジュニアラグビージャンボリー大会(未定)

### 9. 普及委員会

- ・普及育成担当者研修会(4月24~25日・福岡)
- ・タグフェスタIN  
大分(5月)・佐賀(5月)・熊本(10月)・鹿児島(10月)  
長崎(10月)・宮崎(10月)・沖縄(10月)・福岡(11月)
- ・タグ指導者講習会  
鹿児島(6月)・熊本(7月)・長崎(7月)・福岡(7月)  
沖縄(7月)・大分(8月)・佐賀(8月)・宮崎(8月)
- ・第37回九州少年ラグビー-交歓会(8月27日~29日・阿蘇)
- ・ミニラグビー交流大会  
第11回西九州交流大会(9月19日・長崎)  
第11回東九州交流大会(未定・熊本)

- 第10回南九州交流大会(H23.2月7日・鹿児島)
- 第3回沖縄県交流大会(11月28日・沖縄)
- 第5回九州女子ラグビー大会(12月11日～12日・沖縄)
- ミニ・ラグビー指導者講習会
  - 福岡(5月)・鹿児島(6月)・宮崎(7月)・大分(7月)
  - 長崎(7月)・佐賀(8月)
- はじめてのラグビーボール
  - 福岡(4月)・鹿児島(7月)・長崎(9月)・佐賀(10月)
  - 宮崎(11月)・沖縄(H23.3月)
- 第7回サントリーカップ全国大会予選
  - 熊本(11月)・佐賀(11月)・長崎(11月)・宮崎(12月)
  - 大分(12月)・鹿児島(12月)・福岡(12月)
  - 沖縄(H23.1月)
    - 沖縄ブロック大会(H23.1月16日・沖縄)
    - 九州ブロック大会(H23.1月23日・佐賀)
- TRI+TRR研修会(未定)

#### 10. 安全対策委員会

- 安全推進講習会(4月～5月)
- 安全推進キャンペーン(7月～8月)
- 安全推進講習会伝達(H23.2月)
- 九州安全対策委員長会議(H23.3月)
- メディカル・安全対策委員会合同総会(H23.3月)

#### 11. 強化・セレコン委員会

- トップキュウシュウリーグ A 九州学生リーグ視察(9～12月)
- 強化・セレコン委員会(九州代表セレクト会議)(H23.1月)
- クラブ選抜対学生選抜試合(未定・福岡)
- 九州代表試合関係
  - 三地域対抗対関西(H23.3月・関西)
  - 対関東(H23.3月・佐賀)

#### 12. 総務委員会

- 会員名簿の作成(7月)
- 主要スケジュール・メンバー表の作成・配布
- 九州・各県公式試合の編成・発行
- 各新聞における関係記事のスクラップ

#### 13. 広報委員会

- 日本協会機関誌「協会だより」への投稿(年5回)
- 九州協会ホームページの更新(都度更新)
- 各県広報委員長会議(年2回)
- トップリーグ共同記者会見の開催(8月)
- 各メディア(新聞・TV)との意見交換会(年2回)
- 各メディアへの情報発信、情報交換(随時)

#### 14. メディカル委員会

- 公式戦への医師派遣(4月～H23.3月・開催県)
- 公式戦指定試合のドーピング検査(4～3月・開催県)
- 日本代表チーム帯同医師派遣協力
- 総務委員会(9月、H23.3月・福岡)
- 安全対策委員会との合同総会(H23.3月・福岡)

- ・トップリーグ・メディカルコントロール(開催県)

#### 15. 個人登録制度(傷害見舞金共済運営事業)

##### <登録>

- ・指定様式にてチームより各県協会経由5月31日まで登録・期中の追加登録は都度受付ける。
- ・登録状況を理事会に報告(理事会開催時)

##### <傷害見舞金>

- ・見舞金10万円以上は当該の県協会代表者が直接見舞金を持参する。
- ・審査委員会は年12回開催・結果は理事会に報告(理事会開催時)
- ・運営委員会年1回以上開催